



# やまが環境便

令和8年4月1日発行  
山鹿市環境課  
(山鹿市石416)  
☎43-7211

## ◎まだ使える不用品を「おいくら」を利用して売却してみませんか

「おいくら」は、一度に複数のリユースショップの買取価格を比較し、手間なく不用品を売却できるサービスです。引っ越し時の片付け等で出た不用品をまとめて申し込むこともできます。

一括査定は、パソコンやスマートフォンで「おいくら」のサイトからお申込みください。



← 査定申込はこちら

山鹿市「おいくら」 🔍 検索

### 【注意】

再販できるものが買い取り対象となるため、引き取りできない場合もあります。

### 「おいくら」の使い方



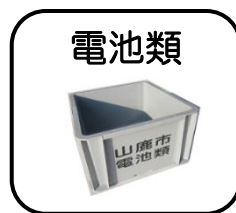
山鹿市は、(株)マーケットエンタープライズとリユース事業に関する協定を締結し、リユースプラットフォーム「おいくら」を用いたリユースを推進しています。

## ◎リチウムイオン電池の捨て方

リチウムイオン電池やリチウムイオン電池使用製品は、資源ごみの「金物類他」または「電池類」で回収しています。



→ 電池だけ外せるもの・膨張したもの(ビニールテープ等を貼って絶縁処理をする)



→ 電池が外せないもの



燃やすごみやプラスチックごみの中には、絶対に入れないでください。

## ◎すぐ食べるなら「てまえどり」 捨てられる食品を減らそう！

「てまえどり」とは、買ってすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品や販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ行動のことです。販売期限が過ぎて捨てられる食品を減らす効果が期待されます。

無理のない範囲で取り入れてみましょう。



日本の食品ロス量（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品）は、令和5年度の推計で464万tです。毎日10t車1, 270台分の食料を捨てている計算です。464万tのうち家庭からは233万tで、主に食べ残し、手つかずの食品、皮の剥きすぎなどが発生要因です。事業系の食品ロス量は、231万tで主に規格外品、返品、売れ残りなどが発生要因となっています。

### 食品ロスにしない備蓄の方法 ～ローリングストック法～

台風や地震などの災害に備えて食料の備蓄はしていますか。

「ローリングストック法」と言われる備蓄方法は、ふだん食べているインスタント食品などを少し多めに買い置きする方法です。ふだん食べることで、期限切れを防ぎ、災害時に食料が口に合わないなど戸惑うことも減らせます。ふだん使いの食品から試してみませんか。

- ふだん食べている食材を多めに買って、備える
- ふだんの食事で食べる
- 食べたらずい足して、補充する

